

# 基礎体温を女性の健康管理に

## 須坂で経産省委託の共同研究

健康情報システム開発のキューオーエル（上田市、宮島正子社長）は、本年度経産省委託事業「地域総合健康サービス産業創出事業」に採択され、来月

から来年二月末まで須坂市在住・在勤の成人女性を対象に「地域女性の健康増進と新少子化対策」プロジェクトを行う。毎日の基礎体

温を衣服内温度計（写真）で測り、データを携帯電話で送り、女性特有の身体リズムを健康管理に生かす。現在、月経のある二百人を募集中だ。

須坂市、県立須坂病院が協力。医療福祉専門従事者を支援するドリームシード（須坂市）が参加する。コンソーシアム（共同研究）名

は「須坂市女性の健康応援団」。

貸与する計測機をパジャマのウエストに挟んで寝るだけで、二つのセンサーが十分間隔で朝まで自動測定（約六時間）する。計測機のQRコードを携帯電話で撮影し、データを送信。パソコン等でデータを管理する。

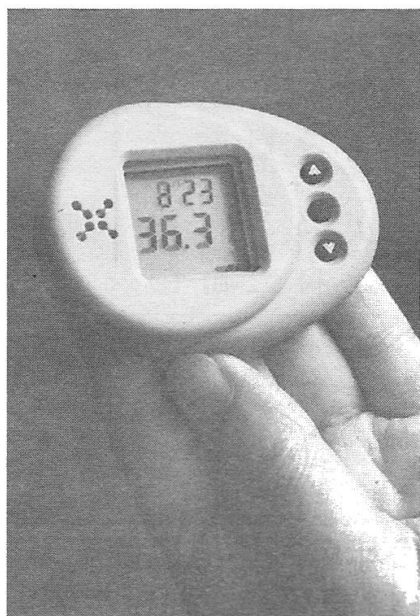
ートに協力する。ウェブ相談が受けられる。同事業は全国四十八件の応募の中から選ばれた十六件の一つ。

基礎体温計測は女性の健康のバロメーターとして若いうちから「産みたい時に産める健康な身体づくり」と出産後は「女性ホルモンに守られた身体の大切さ」を実感するため活用する試み。

市健康づくり課は「基礎体温の正しい知識を学習し、月経周期をコントロールして生活の中で上手に活用して」と話す。

同課 ☎248-9023。同社 ☎0268-39-7735。応募

はインターネットで。  
<http://www.QOJ21.com/suzaka/>



実施する健康意識アンケ